

停止確率 Ω

宮部賢志 明治大学数学科

2017年10月28日(土)
数学基礎論若手の会 2017

昔の話

- ❖ ランダムネスの
小史
- ❖ Ω の定義
- ❖ Ω の性質
- ❖ 図
- ❖ left-c.e.
- ❖ machine
- ❖ prefix-free
- ❖ Kraft の不等式
- ❖ Solovay 還元
- ❖ Solovay complete
- ❖ ML-random

比較的最近の話

昔の話

ランダムネスの小史

1919- von Mises により頻度説に基づく確率論の提案。
Collective というランダム列の概念の重要性が指摘される。

1966 Martin-Löf によるランダム列の定義の提案。
計算可能性と統計的検定を使う。

1970s Schnorr, Levin, Kolmogorov らにより, 予測不可能性および圧縮不可能性による特徴付けが得られる。

2000- Nies, Downey ら計算論の研究者が興味を持ち始める。

Ωの定義

定義 1 (Chaitin 1975or76).

$U : \subseteq 2^{<\omega} \rightarrow 2^{<\omega}$ を prefix-free universal machine として,

$$\Omega_U = \sum \{2^{-|\sigma|} : U(\sigma) \downarrow\}$$

とする.

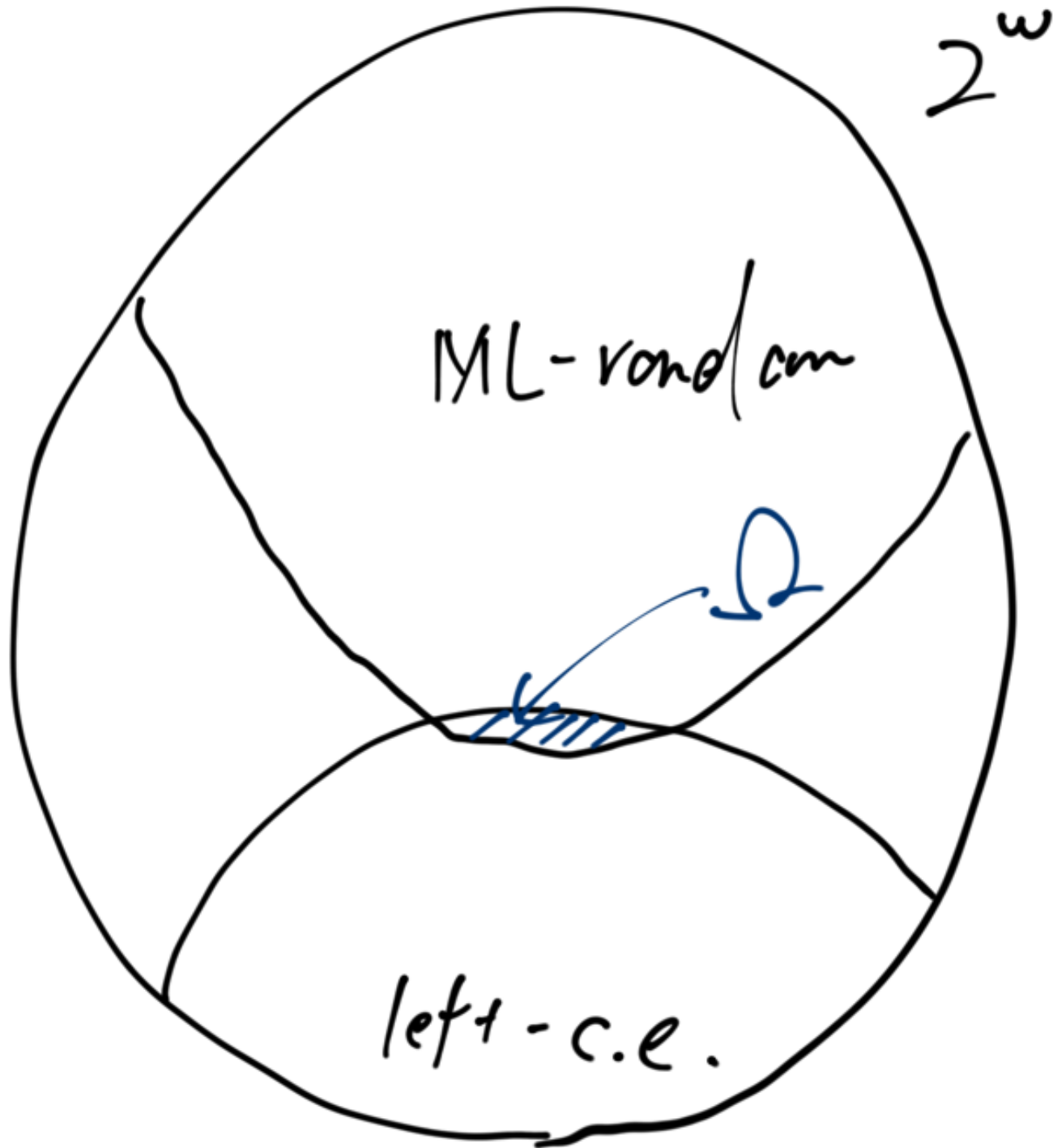
prefix-free universal machine U に依存しない性質を考える場合には, U を省略して, Ω と書く.

Ω の性質

定理 2 (たくさん). *left-c.e. real* α に対して以下は同値.

- ある *prefix-free universal machine* U が存在して,
 $\alpha = \Omega_U$ となる.
- α は *Solovay complete*.
- α は *ML-random*.

超解釈 : Ω は賢くてランダム. そのような数は Ω となる数しか存在しない.



left-c.e.

定義 3.

$A \subseteq \omega$ が **c.e.** であるとは, (HF or PA で) Σ_1^0 -definable であることをいう.

$A \subseteq \omega$ が **computable** であるとは, A と A の補集合 A^c が共に **c.e.** であることをいう.

ω と \mathbb{Q} や $2^{<\omega}$ などの可算集合は適当な対応関係により同一視する.

$x \in \mathbb{R}$ が **left-c.e.** であるとは, $\{q \in \mathbb{Q} : q < x\}$ が **c.e.** であることをいう.

machine

定義 4. 関数 $U : \subseteq 2^{<\omega} \rightarrow 2^{<\omega}$ が **partial computable function** (or p.c.f. or machine) であるとは, U を表現する集合

$$\{\langle \sigma, \tau \rangle : U(\sigma) = \tau\}$$

が **c.e.** であることをいう. σ に対して対応する τ が存在すれば $U(\sigma) \downarrow$ と書き, 存在しなければ $U(\sigma) \uparrow$ と書く.

machine U が **universal** であるとは, 任意の machine V に対して, ある $\sigma \in 2^{<\omega}$ が存在して, すべての $\tau \in 2^{<\omega}$ で

$$U(\sigma\tau) \simeq V(\tau)$$

となることをいう.

prefix-free

定義 5. $A \subseteq 2^{<\omega}$ が **prefix-free** とは, 任意の異なる $\sigma, \tau \in A$ について, 互いに接頭辞にならないことをいう.
machine が **prefix-free** とはその定義域が **prefix-free** であることをいう.

c.f. 電話番号の集合

*Kraft*の不等式

定理 6. *prefix-free set* $A \subset 2^{<\omega}$ に対して,

$$\sum_{\sigma \in A} 2^{-|\sigma|} \leq 1$$

特に, $\Omega = \sum \{2^{-|\sigma|} : U(\sigma) \downarrow\} \in [0, 1]$.

Solovay還元

定義 7. left-c.e. real α, β に対して, $\alpha \leq_S \beta$ とは, ある $c \in \omega$ と left-c.e. real γ が存在して,

$$c\beta = \alpha + \gamma$$

となることをいう.

left-c.e. real は和に関しては閉じているが, 差に関しては閉じていないことに注意.

定理 8.

$$\alpha \leq_S \beta \Rightarrow \alpha \leq_T \beta$$

Solovay complete

定理 9. Ω は *Solovay complete*. すなわち, すべての *left-c.e. real* α に対して, $\alpha \leq_S \Omega$.

証明. 2進有理数の単調増加な計算可能数列 $\{a_n\}$ で $\alpha = \lim_n a_n$ となるものをとる. $a_0 = 0$ とし, 各 $n \in \omega$ について $a_{n+1} - a_n$ の量だけ止まる machine M を考える. すなわち, $\alpha = \sum \{2^{-|\tau|} : M(\tau) \downarrow\}$ である. U の universality より,

$$\Omega = \sum_{U(\sigma\tau)\downarrow} 2^{-|\sigma|-|\tau|} + \sum_{U(\rho)\downarrow, \sigma \not\leq \rho} 2^{-|\rho|} = 2^{-|\sigma|} \alpha + \gamma$$



ML-random

$$K(\sigma) = \min\{|\tau| : U(\tau) = \sigma\}$$

$A \in 2^\omega$ が **ML-random** であるとは, $K(A \upharpoonright n) > n - O(1)$ であること.

定理 10. Ω は *ML-random*.

昔の話

比較的最近の話

- ❖ addition
- ❖ derivative by Ω
- ❖ strong K and S reducibility
- ❖ split and non-split
- ❖ 終わり

比較的最近の話

addition

定理 11 (Downey, Hirschfeldt, and Nies 2002). α, β を *left-c.e. real* とする. $\alpha + \beta$ が *ML-random* であれば, α, β の少なくとも一方は *ML-random* である.

定理 12 (Downey, Hirschfeldt, and Nies 2002). γ を *ML-random* でない *left-c.e.* とする. $\alpha + \beta = \gamma$ を満たす *left-c.e. real* $\alpha, \beta <_S \gamma$ となるものが存在する.

derivative by Ω

定理 13 (Calude, Coles, Hertling, and Khoussainov).
 $\alpha \leq_S \beta$ iff $\forall \{b_n\} \exists c \exists \{a_n\}$ such that $\alpha - a_n < c(\beta - b_n)$

定義 14.

$$\frac{\partial \alpha}{\partial \beta} = \lim_{s \rightarrow \infty} \frac{\alpha - \alpha_s}{\beta - \beta_s}$$

定理 15 (Barnmpalias, Lewis-Pye).

$$\frac{\partial \alpha}{\partial \Omega} = \begin{cases} c_\alpha > 0 & \text{if } \alpha \text{ is ML-random,} \\ 0 & \text{if } \alpha \text{ is not ML-random.} \end{cases}$$

strong K and S reducibility

定義 **16.** $\alpha \ll_K \beta$ if $\lim_n (K(\beta \upharpoonright n) - K(\alpha \upharpoonright n)) = \infty$.

定義 **17 (M.).** $\alpha \ll_S \beta$ if $\exists \{a_n\} \forall \{b_n\}$

$$\lim_s \frac{\alpha - \alpha_s}{\beta - \beta_s} = 0.$$

定理 **18 (M.).**

$$\alpha \ll_K \beta \Rightarrow \alpha \ll_S \beta \Rightarrow \alpha <_S \beta$$

どちらも逆は不成立.

split and non-split

命題 19. α, β, γ を *left-c.e. real* とする. $\alpha, \beta \ll_S \gamma$ ならば,
 $\alpha + \beta \ll_S \gamma$.

系 20. *left-c.e. real* α, β が *ML-random* でなければ, $\alpha + \beta$
は *ML-random* でない.

Downey-Hirshfeldt-Nies の結果の別証明になっている.

系 21. *left-c.e. real* α に対して, $\beta <_S \alpha$ かつ $\beta \not\ll_S \alpha$ となる β が存在することと, α が *ML-random* でないことは
同値.

終わり

ありがとうございました

